

フェイス角・ロフト角・ライ角を挿入時に調整

カリスマクラフトマン 喜多和生 考案

アングルスパーサー



アングルスパーサーとは、

スパーサーのツメを「フェイス側」「バック側」「ヒール側」「トゥ側」に向け挿入することで、フェイス角などの調整を「0.5度」「1.0度」の単位で行えるパーツです。



フェイス側 バック側 ヒール側 トゥ側

実用新案登録商品

ラインナップ

ウッド用 (外径/8.7mm 内径/8.5mm 厚さ/0.1mm)



基準値計測用パーツ

AS-WA ウッド用

Made in JAPAN



AS-WB ウッド用

Made in JAPAN 3コ入



AS-WC ウッド用

Made in JAPAN 3コ入

アイアン用 (外径/9.4mm 内径/9.2mm 厚さ/0.1mm)



基準値計測用パーツ

AS-IA アイアン用

Made in JAPAN



AS-IB アイアン用

Made in JAPAN 3コ入

※素材/ステンレス

手順 ① シャフトのTIP径に合わせ「ホーゼルの内径」を整える

後に紹介する数値を実現するためには、下記の条件で作業することが重要です。

[TIP径 + 0.2mm = ホーゼル内径] TIP径とホーゼル内径の差 0.2mm

ウッド用 (例)

TIP径/8.5mmの場合、ホーゼル内径/8.7mm

アイアン用 (例)

TIP径/9.2mmの場合、ホーゼル内径/9.4mm



ドリル、ハンドリマー等でホーゼルの内径を整える。

手順 ② 「基準値の計測」 — クラブの現状を把握する —

ウッドの場合



基準値計測用パーツ

「AS-WA」を使用し、「基準となる数値」を計測する。

シャフトの先端に装着して挿入する。(ホーゼルのセンターに挿入されます)

フェイス角、ライ角を計測する

ここで、計測した数値に対して調整を行います。

基準値計測用パーツ「AS-WA」を抜き取り「AS-WB」「AS-WC」と差し替えることで調整が可能です。

アイアンの場合



基準値計測用パーツ

「AS-IA」を使用し、「基準となる数値」を計測する。

シャフトの先端に装着して挿入する。(ホーゼルのセンターに挿入されます)

フェイス角、ライ角を計測する

ここで、計測した数値に対して調整を行います。

基準値計測用パーツ「AS-IA」を抜き取り「AS-IB」と差し替えることで調整が可能です。

手順 ③

計測した基準値に対して「フェイス角・ライ角の調整」を行う

ウッドの場合

「AS-WB」を使用



■ 「ツメ」を目印に
向きを変え挿入することで
次の結果が得られます。

ツメをフェイス側・「フェイス角が**0.5度フック**」になる
ツメをバック側・「フェイス角が**0.5度オープン**」になる
ツメをトゥ側・「ライ角が**0.25度アップライト**」になる
ツメをヒール側・「ライ角が**0.25度フラット**」になる

アイアンの場合

「AS-IB」を使用



■ 「ツメ」を目印に
向きを変え挿入することで
次の結果が得られます。

ツメをフェイス側・「ロフト角が**0.5度多く**」なる
ツメをバック側・「ロフト角が**0.5度少なく**」なる
ツメをトゥ側・「ライ角が**0.5度アップライト**」になる
ツメをヒール側・「ライ角が**0.5度フラット**」になる

「AS-WC」を使用



■ 「ツメ」を目印に
向きを変え挿入することで
次の結果が得られます。

ツメをフェイス側・「フェイス角が**1.0度フック**」になる
ツメをバック側・「フェイス角が**1.0度オープン**」になる
ツメをトゥ側・「ライ角が**0.5度アップライト**」になる
ツメをヒール側・「ライ角が**0.5度フラット**」になる

注意点

記載内容のように0.25度、0.5度、1.0度と正確な調整結果を得るためには、下記の条件を満たす必要があります。

[TIP径 + 0.2mm = ホーゼル内径]

TIP径とホーゼル内径の差が0.2mmである事

ホーゼルの内径や形状、挿入方法により指定の角度に仕上がらない場合がありますが、スペーサーの「ツメ」が作用し調整を行うことは可能です。必ず仮挿入をして角度（調整結果）の確認を行ってから固定をして下さい。

手順 ④

「接着方法」 —③の工程で確認した向きに挿入し固定する—



スペーサーの内側、外側の両方を研磨し、脱脂する。
内側は砥石、外側は紙やすり(100番)が便利です。



シャフト、ホーゼルに
接着剤を塗る。



スペーサーの「ツメ」を少し起こし、ツメの内側にも
接着剤が流れるようにしながら、接着剤を塗る。
ツメの向きを確認しながら軽く挿入する。



スペーサーの内側、外側、全体に接着剤を塗る。
ホーゼルにしっかりと挿入する。



シャフトに接着剤を塗り、ホーゼルへ挿入する。



溢れ出た接着剤を拭き取り、硬化を待つて完成。

アングルスペーサーの利点

今まで手作りのパーツで行っていた調整を「**毎回、同じパーツ**」で行えます。
「ツメ」の扱いに慣れてきますと、クラブ調整に欠かせないパーツになります。